

# 野党共闘

## 参院選

# 11選挙区で勝利

# 衆院選でも協力



4野党書記局長・幹事長会談。左から社民・又市、共産・小池、民進・枝野、生活・玉城の各氏。7月26日、国会内（日本共産党ホームページより）

日本共産党、民進党、生活の党、社民党の野党4党は、参院選での野党共闘の成果を互いに共有し、来る総選挙などで、できる限りの協力をすることを確認しました（7月26日の書記局長・幹事長会談）。

会談で民進党の枝野幸男幹事長は「参院選の11の1人区

で勝利したことをはじめ、野党連携の成果が出たと考えている。今後の国政選挙でも、できる限りの協力をしていきたい」と発言。日本共産党の小池晃書記局長もこれに同意し、「衆院補欠選挙や総選挙でも選挙協力を進めよう」と呼びかけました。

## 初挑戦で大きな成功

参院選では国政史上初めて32の1人区すべてで野党が共闘し、11選挙区で勝利。前回参院選（2013年）の当選2からプラス9の大きな前進です。

得票でも、32選挙区のうち28区で4野党の比例票合計を

野党統一候補が上回りました。「1+1が2」でなくそれ以上の結果。共闘効果は明確です。

# 日本共産党

# 被爆71年

# 「核なき世界」へ行動を

## 核兵器禁止条約 実現へ

アメリカが広島・長崎に原爆を投下して71年の今年、オバマ米大統領が広島を訪問し、「核なき世界」への期待が広がりました。

### 国連で本格議論が開始

いま核兵器をめぐる焦点は、核を廃絶する核兵器禁止条約の実現です。今年、「禁止条約」についての本格的な議論が国連で始まり、来年に「禁止条約」を交渉する会議を開くことも提案されました。

問題は、米英仏口中の核保有5大国が、「安全保障のため

に核兵器は必要だ」という「核抑止論」に立ち、こうした流れに反対していることです。オバマ氏が「核なき世界への前進」という自らの言葉に誠実なら、核廃絶への具体的とりくみに踏み出すべきです。

### 核保有国の代弁者やめよ

日本政府は国連総会で、核兵器禁止条約を求める決議に棄権を続け、「『段階的なアプローチ』が現実的だ」と核廃絶先送りの主張をしています。被爆国でありながら核保有国の代弁者ともいふべき政府の態度は許せません。



# 日本共産党